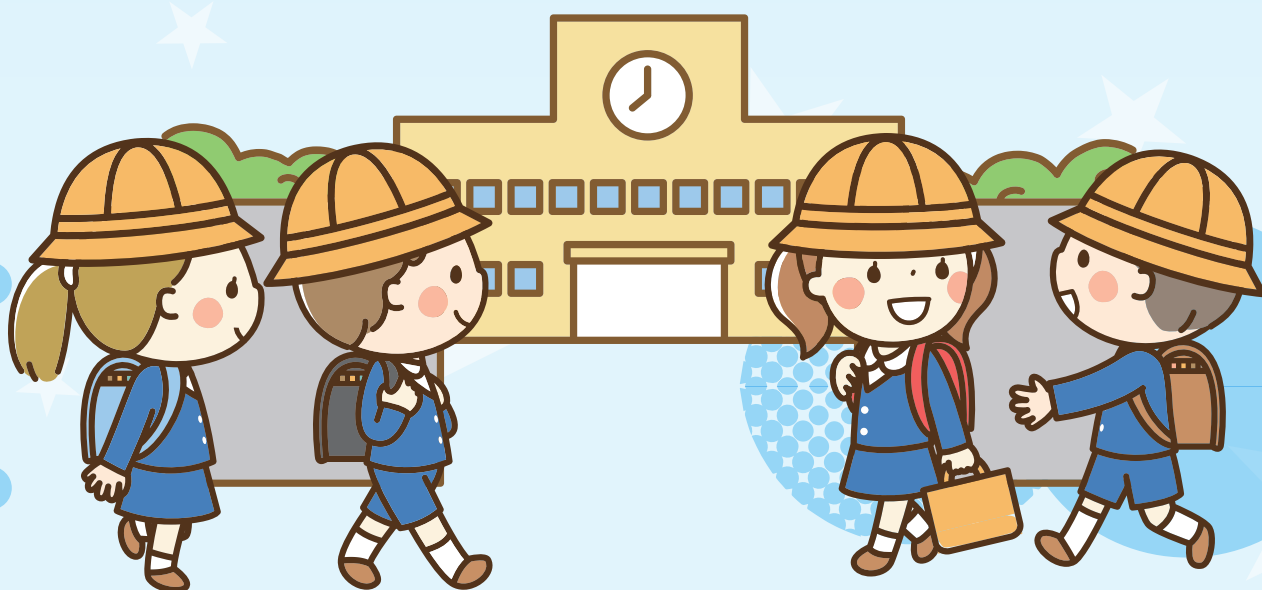


わがわが1年生

親子で準備



- 品川区では、お子さんが安心して小学校へ入学し、期待をもって生活できるように、就学前の保育・教育と義務教育の滑らかな接続を考え、保育園・幼稚園・小学校の連携・交流を行っています。保育園や幼稚園では、遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育み、人間として、社会と関わる人として生きていくための基礎を培うことを重視し、保育・教育活動を実施しています。
- 入学後の学校生活を充実したものにするためには、就学前の今、家庭においてどのようにお子さんと関わっていくかということも重要になってきます。小学校生活を楽しみにしながらこのパンフレットをお子さんと一緒にお読みになり、入学までの準備をお願いします。

令和8年10月
品川区

子どもたちの育ちをつなぐために

0歳児から5歳児へ、発達につながっています

成長・発達の特徴

発達の特徴

関わり方のポイント

0歳児

安心・信頼
情緒的な絆

「心地がいいな」
「大好き！」

特定の大人との応答的な関わりを通じて、「愛されている」と感じられる絆が形成されます

愛情深く応答的で
穏やかな関わり

1歳児

自我の芽生え
自己主張

「いやいや！」

自我が芽生え、1歳半頃から感情表現が成長します

「あれなあに？」
「これなあに？」

周囲の人や物に気付き、自分から手を伸ばして触れ確かめるなど関わり、楽しさが広がります

子どもの動きや
気持ちを支える
関わり

2歳児

いろいろな気持ち
真似することが大好き

「どうして？」
「ねえねえ…」
「見て見て！」

言葉が増え、おしゃべりを楽しんだり、大人や友達と同じ動きを楽しんだりするようになります

「自分でやりたい！」
「自分でできた！」

様々なことに興味をもち、やってみようとする気持ちが育ちます

子どもの好奇心を
大切に

3歳児

興味・関心の広がり
やりたいことがいっぱい

「面白そう！」
「楽しいな」

自分のしたい気持ちを出しながら、遊びを楽しむようになります

「これがしたい！」
「やってみよう」

使うことができる言葉が増え、運動機能がますます発達し、一人でできることが増えていきます

子どもが感じている
様々な気持ちを大切に
ありのまま受けとめる

4歳児

興味・関心の高まり
感情体験の広がり

「嬉しいな」
「悲しいな」
「けんかしちゃった」

友達との関わりを楽しむと同時に、自己主張をしながら自分と友達の気持ちの違いに戸惑うこともあります

「知りたい！」
「もっとやってみたい！」

自分のしたい遊びを十分に楽しみながら、楽しい経験を重ねます

自分のやりたいことに
じっくり取り組む姿を
大切に認める

相手の思いを
丁寧に知らせる

力を発揮している
姿を認め、自己肯定感を高める

遊びの中で学びを
深めている姿を見守り、受けとめる

5歳児

興味・関心の深まり
試行錯誤
自分の力の発揮
友達との協力

小学校
以降

「どうなるかな？」
「試してみよう」

遊びや生活の中で、自分で考えたり試したり、予想したり、工夫したりして学びを深めていきます

「挑戦してみよう！」
「やってみたら、できた！」

自分の力や思いを発揮して遊びや生活を作り出す達成感を味わい、自信を付けていきます

「こうしてみない？」
「いいね」

「友達がいるっていいな」
友達との関わりが深まり、思いを伝え合ったり、力を合わせたりしながら遊びや生活を作りあげようになります

充実・発展 様々なものや人と関わりを深め、自分の世界を広げていく

広がり 様々なものや人との関わりを通して好奇心・探究心等が育つ

安心・安定 幼児が健やかに育つ基盤

※ 発達の進み具合などは、一人一人違うものです。「心配だな」と思うことがあったら、園や地域の施設などに相談してみましょう。

安心して入学を迎えるために

育みたい資質・能力

知識及び
技能の基礎

思考力、
判断力、
表現力等の
基礎

学びに
向かう力、
人間性等

詳細は P.5 へ

生活や時間の流れを意識したり状況の変化を予測したりし、見通しをもって行動できるようにしています。

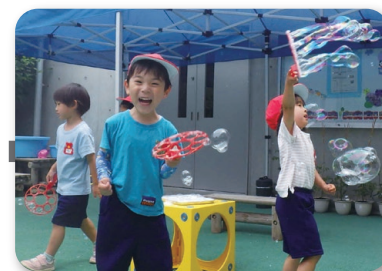


相手の言葉や話をよく聞いたり、経験したことや考えたことなどを話したりし、伝え合う喜びを感じられるようにしています。



子どもたち自身が、遊びや生活の中で、必要感をもって、よりよい生活のために必要な行動ができるようにしています。

子どもの気持ちに寄り添った声を掛け、生活に必要なことを自分でする意欲をもてるようにしています。



自分の力を発揮しながら友達と一緒に相談したり協力したりする体験を大切にしています。

周囲の環境や声の掛け方を工夫し、興味や関心をもったことに自ら関わることができるようにしています。



「やってみたい」「どうしてかな?」「もっとしたい」など、心を動かし、好奇心や探究心をもって遊ぶことを楽しめるようにしています。



自分の成長を感じ、小学校での生活を楽しみにできるような関わりを大切にしています。

遊びを通して学ぶ時期

教科書などで学ぶ時期へ

小学校1年生へ

規則正しい生活リズムを作しましょう



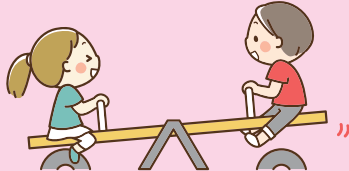
早寝、早起きの習慣や排便などの生活リズムを身に付けましょう

朝ご飯を食べるようにしましょう



持ち物を自分で整理したり、自分で準備したりなど、自分のことは自分でできるようにしましょう

体を十分に動かしていっぱい遊びましょう



規則正しい生活を送ることや自立に向かう姿勢は、「心の安定」や「学習に意欲的に向かう気持ち」など、遊びや学習の基礎につながります。

感じたり気付いたり、大切に

表現したりする姿をしましょう

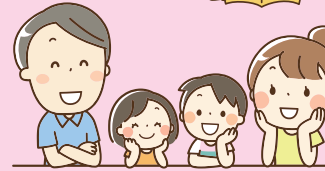
子どもの興味や関心をもった取り組む時間をもちましょう

遊びに親子でじっくりと

体を動かして遊ぶ



本にたくさん触れる



描いたり作ったりする



自然と関わるなど

子どもの考えをよく聞き、感じたことや気付いたことなどに、たくさん共感していきましょう

感じたり考えたり、発見すること学習への意欲につながります。

を喜んだりしながら遊ぶことが、

自分で考え行動する力を育みましょう



家族と一緒に過ごす時間や子どもとの会話を大切にしましょう

みんなで気持ちよく生活するために大切なことを確認しましょう



挨拶や返事ができるようにしましょう

おはようございます
ありがとう



社会や家庭、園でのきまりや約束を守って生活しましょう



困ったことやわからないときに自分の言葉で伝えることができるようにしましょう



丁寧に子どもの考えを聞き一緒に考えていくことが、自分で考え、判断し、行動する、「主体性」を育むことにつながっていきます。

幼児期から小学校へ学びをつなぐ

保育園や幼稚園等では、遊びや生活を通した学び
小学校教育では、園で育まれた学習の基盤や経験



幼児期の教育

遊びを中心とした主体的な生活
生きる力の基礎を育みます

知識及び技能の基礎

豊かな体験を通じて、
感じたり、気付いたり、
分かったり、できるように
なったりする



思考力・判断力・表現力等の基礎

気付いたことやできるようになっ
たことなどを使い、考えたり、試
したり、工夫したり、表現したり
する

遊びを通しての総合的な指導
環境（身の回りのすべて）を通して行う教育

学びに向かう力・人間性等

心情・意欲・態度が育つ中で、
よりよい生活を営もうとする



幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な心と体

協同性

道徳性・規範意識
の芽生え

自立心

社会生活との
関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・
生命尊重

数量や図形、
標識や文字などへの
関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性と
表現

を重視しています。

を生かした指導や教育を行います。



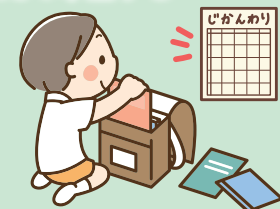
小学校教育

幼児期に育まれた生活や学習の基盤を
生かした教育をしています

小学校でのこんな姿につながっていきます

時間割など生活の流れが分かり次の活動を考えて準備する

安全に気を付けて登下校する



分からないことを先生や友達に聞きながら粘り強く取り組む



自分の力を発揮しながら友達と協力する

相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったり等、
気持ちや行動を調整する

相手の状況や気持ちを考えながら、いろいろな人と関わることを楽しむ

関心のあることについての情報に気付いて積極的に取り入れる

小学校で出会う新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって関わる

主体的に問題を解決する

生命あるものを大切にし、生きることの
すばらしさについて考えを深める



小学校の学習に関心をもって取り組み、学んだことを日常生活の中で
活用する態度になる



友達と互いの思いや考えを受け止めたり、
認め合ったりしながら一緒に活動する

伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする

幼稚園教育要領解説・保育所保育指針解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説より抜粋

小学校以降の教育



小学校以降は教科書などを
使った各教科等により、
資質・能力をバランスよく
育んでいきます

知識及び技能

思考力、判断力、 表現力等

学びに向かう力、 人間性等

これらの資質・能力は、
高等教育までつながって
いきます



小・学校生活

幼児期における遊びを通した総合的な学びから教科等における学習に移行をしていきます。遊びや生活を通して総合的に学んでいく幼児期の教育活動と各教科等の学習内容を系統的に学ぶ等の小学校の教育活動は、内容や進め方が異なります。

そこで、入学当初は、幼児期の生活に近い活動と小学校の学び方を織り交ぜながら、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにしていきます。

品川区の公立学校では、1年生からこのような学習をしています！

市民科

市民科は、特別の教科 道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合・再構築した品川区の独自教科です。義務教育学校9年間を通した系統的な指導で、市民（社会の形成者）としての資質と能力を育てています。



英語科

1～2年生は学級担任とALT（外国語指導助手）が協力して英語を行っています。3～6年生は学級担任とJTE（英語専科指導員）がチームティーチングで授業を行っています。

児童は、ALTの話すネイティブな英語を聞くことで、英語の音声に慣れ親んでいきます。



ICTの活用

1人1台ずつタブレット端末を貸与しています。児童・生徒のコンピュータの操作技能や情報活用能力の向上とともに、一人一人に合った学び、児童・生徒が協働的に学ぶ授業スタイルの実現を図ります。



品川区の教育の
詳しい内容についてはこちら



保幼小連携

幼児期の育ちや学びは小学校の各教科の学習につながっていきます。

品川区は幼児教育と義務教育が円滑に接続できるように保幼小の連携をしています。

5歳児が小学校に行って児童と関わったり、児童が幼稚園、保育園に行って関わりを深めたりしながらお互いの学びにつなげています。

更に、保育者と教員が交流をすることで、お互いを理解する機会になっています。

そして、入学前に小学校に行くことは、自然に学校環境に慣れ、入学に期待と憧れも持てるようになります。



大きな輪ができた
（3年生との交流活動）



ランドセル、重いかな
（1年生の教室で学校体験）



車が走るよ
（2年生との交流活動）



みんなで握手
（5年生との交流活動）



いいもの見つけた
（1年生と地域の森の中で）



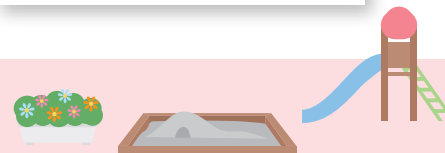
どんな音色かな
（5年生の音楽の授業で）



花を植えようね
（5年生と一緒に地域に）



こうやって折るとね
（4年生との交流活動）



入学に向けて、家庭で心がけたいこと

お子さんがスムーズに、楽しく小学生生活をスタートできるよう、小学校も、園も、さまざまな工夫をしています。

ご家庭でも、お子さんの成長をあたたく見守りながら、こんなことを心がけてみてください。

「ほめる」「見守る」

着替え、片付けなどを自分でできたら、しっかりほめましょう。自己肯定感を育みます。うまくいかないとき、そっと見守ることも必要です。

感謝の気持ちを伝える

家庭で子どもがお手伝いをしてくれて「ありがとう」と言うときは、何への感謝なのか具体的に伝えられるとよいでしょう。人の役に立つことをうれしく思う気持ちが育まれます。

入学に向けて ご家庭でも 心がけたいこと

生活リズムを整える

健康な心と身体で学校生活をスタートできるよう「早寝、早起き、朝ご飯」を意識しましょう。



「あいさつ」の習慣

大人があいさつしているところを見て、子どもも自然にできるようになります。友達などの関係をつくる第一歩です。

気持ちや思いを言葉で伝える

子どもの話を最後まで真剣に聞くことで、言葉を通して気持ちや思いを伝え合う力が育まれます。困ったときに「困った」と言えると、入学後も安心です！

通学路を確認

お子さんと一緒に歩きながら、通学路の安全面（交差点、見通しの悪い道）などを確認してみましょう。

小学校生活へのQ&A

Q 入学までに、どのくらい文字や数字の読み書きができるとよいでしょうか？

A 文字の読み書きや計算は、小学校で基本からしっかりと教えますので、無理に教え込む必要はありません。本に親しむ機会を作るなど、生活の中で見付けた文字や数などへの興味や関心を大切にしてください。

Q 給食のことが心配です。

A 小学校では、給食を楽しく食べられるよう、さまざまな工夫をしています。特に入学当初は、食べる量や時間に配慮して、ゆったりと給食の時間をとります。食物アレルギーについては、入学先が決まったら小学校にご相談ください。

Q 落ち着きがない様子や友達と遊べない様子が気になっています。どこに相談したらよいでしょうか？

A

- ・心配なことがあったときは、まず担任に相談しましょう。日頃から担任と心を通わせ、話しやすい人間関係をつくっておくことも大切です。
- ・担任以外にも学年主任や養護教諭、副校長、校長など、多くの職員が相談に応じます。
- ・子どもたちだけでなく保護者同士も仲良くなり、情報を交換したり助け合ったりすることが大切です。
(裏表紙に相談機関を紹介しました。)

安心して入学できるようにそれぞれの機関でサポートをしていきます。

Q 一人で通学できるでしょうか？
登下校の安全も心配です。

A 入学前にお子さんと一緒に通学路を歩いて、一人で通学できるという自信をもてるようにしましょう。また、交通事故や不審者などから身を守るために、具体的な注意事項や対応について親子で確認しておきましょう。

Q 小学校生活になじめるかどうか心配です。
大丈夫でしょうか？

A 品川区では、保・幼・小連携を推進し、保育・教育活動を進めています。小学校教育にスムーズにつなぎ、安心して就学できるようにしています。もしご心配なことがあれば、園にご相談ください。



親子を応援する品川区のサポート

• よりよい小学校生活を送るために

教育相談

品川区にお住まいの子育て中の方、または区内に在園の方で
お子さんの言葉や行動、理解力などの心配に対して、教育・心理
を専門とする相談員が相談に応じております。

就学相談

お子さんの知的機能・身体機能・情緒面等の発達に心配が
ある場合に、お子さん一人一人の教育的ニーズに合った支援等、
最も適した「学びの場」を保護者のみなさんと相談して決めて
いきます。

※令和9年度入学にかかる就学相談の申し込みは

令和8年3月23日(月)～令和8年10月9日(金)までです。

※右記二次元コードのHPからWEBにてお申し込みできます。

教育相談

品川区教育委員会事務局

教育総合支援センター 教育相談室

〒141-0031 品川区西五反田 6-5-1

教育文化会館 4階

電話 相談専用 (03)3490-2006

(受付時間) 午前9時～午後5時

就学相談

品川区教育委員会事務局

教育総合支援センター 特別支援教育担当

〒141-0031 品川区西五反田 6-5-1

教育文化会館 4階

電話 (03)5740-8202

(受付時間) 午前9時～午後5時



• 親子の健康のために

おやこの保健サービス

病気のこと、心身の健康のこと、食生活のこと、歯や口の健康に関することの相談を保健師、栄養士、歯科衛生士が
お受けします。

品川保健センター

〒140-0001 品川区北品川 3-11-22

電話 (03)3474-2000

(受付時間) 午前8時30分～午後5時

大井保健センター

〒140-0014 品川区大井 2-27-20

電話 (03)3772-2666

(受付時間) 午前8時30分～午後5時

荏原保健センター

〒142-0063 品川区荏原 2-9-6

電話 (03)3788-2000

(受付時間) 午前8時30分～午後5時

• お子さんと家庭の安心のために

お子さんと家庭の相談

子どもと家庭に関するあらゆる相談、地域の
ネットワークを構築し、子育てを総合的に支援し
ます。

★お子さんが通う保育園・幼稚園、児童センターも
身近な相談窓口です。専門性をもった職員が適切
に相談に応じます。

子育て相談

受付・問合わせ先

◇品川区子ども未来部 子ども家庭支援センター 児童相談担当

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 品川区役所第三庁舎 4階

電話 (03)6421-5236 (受付時間) 午前8時30分～午後5時

◇品川区立家庭あんしんセンター

〒142-0051 品川区平塚 2-12-2

電話 (03)5749-1032 (受付時間) 午前9時～午後6時

ひとり親家庭に関する相談

受付・問合わせ先

品川区子ども未来部 子ども家庭支援センター ひとり親相談係

〒140-8715 品川区広町 2-1-36 品川区役所第三庁舎 2階

電話 (03)5742-6589 (受付時間) 午前8時30分～午後5時